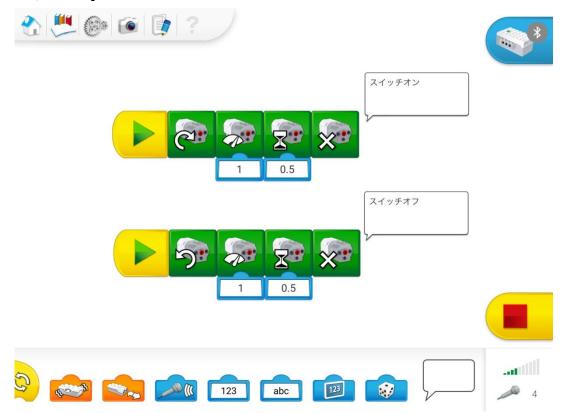
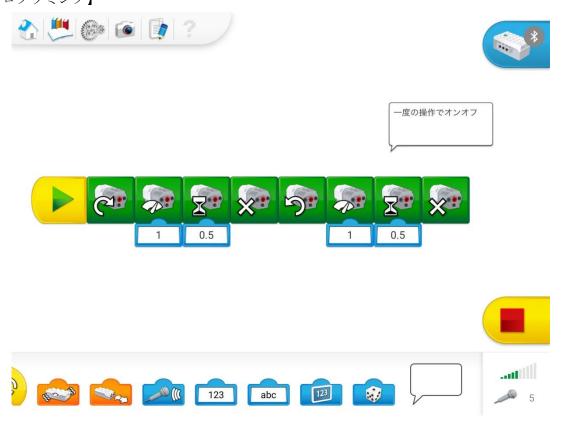
本時の学習1

- 2) 本時の展開
- 6. 「スイッチを切る」ためのプログラミングを考え、実際に行う。
- (イ)「スイッチを入れる」「スイッチを切る」それぞれのプログラミングが必要なことに気づく。

【実際のプログラミング】



(ウ)「スイッチを入れる」「スイッチを切る」を一つのプログラミングで動作させることが可能なことに気づく。 【実際のプログラミング】



本時の学習2

- 2) 本時の展開と授業の様子
- 3. 時間でオフになるプログラミング
- (イ) プログラミングのどこに待機ブロックを入れればよいか考え、実際に動作させる。

【実際のプログラミング】





10秒経ってから自動でス イッチオフ





4. モーションセンサーについて知り、人の動きでオン・オフできるプログラミングを行う。 (イ) プログラミングのどこに入れるか考え、実際に動作させる。

【実際のプログラミング】





(ウ)繰り返しブロックを使うことで、完全に自動化できることを理解する。

【実際のプログラミング】





≪資料≫

児童が作ろうとしていたその他のプログラミング

「自分でスイッチを入れる。使い終わったら自分でスイッチを切る。消し忘れ防止対策として、スイッチを入れ たあと、ある程度の時間が経ったら自動でオフになる。これで省エネになると思う。」

